

科目名	国際政治学					単位	2.0
担当教員	鈴木 是生						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4315

●授業のテーマ

国際政治学における基本概念／冷戦後の日本の外交とその課題

●到達目標

国際政治学における基本概念（例：主権）を説明する能力／冷戦後の国際社会の課題のうち、具体的な事例についてコメントする能力を習得することです。後者については東アジアの国際秩序のあり方について検討していきます。

●学習内容(授業概要)

世界への関心を培っていくための基本概念を理解し、国際社会におけるパワー・ポリティクスのありようを考えるための基本的視座の獲得を目指していきます。

前半では、国際政治学の理論的枠組（主にリアリズムとリベラリズム）を軸に「戦争と平和」について考えていきます。主権国家、安全保障、勢力均衡など基本概念の概説を踏まえ、総力戦とその帰結を中心に「世界戦争の時代」を振り返ります。

後半では、戦後日本を取り巻く国際政治に焦点をあて、今日の東アジアについて検討していきます。とくに、安全保障と国境問題を中心に、いくつかの議論を紹介しながら「わたしたちにとっての世界」への関わり方を学んでいきます。

●学習内容(授業計画)

□ブロックⅠ 戦争と平和から考える

- ① プロローグ；なぜ、戦争は終わらないのか？
- ② パワー・ポリティクスとは何か（１）；リアリズムとリベラリズム
- ③ パワー・ポリティクスとは何か（２）；世界戦争の時代と総力戦体制
- ④ 「正しい戦争」はあるのか（１）；ナンキン・アウシュヴィッツ・ヒロシマ
- ⑤ 「正しい戦争」はあるのか（２）；人道に対する罪と戦争の違法化
- ⑥ 「正しい平和」はあるのか（１）；戦後秩序の構築と二つの分断国家
- ⑦ 「正しい平和」はあるのか（２）；恐怖の均衡と安全保障ディレンマ
- ⑧ まとめ；二つの世界大戦から冷戦へ

□ブロックⅡ 歴史と境界から考える

- ⑨ 日本の敗戦処理と東アジア（１）；冷戦と日米の安全保障
- ⑩ 日本の敗戦処理と東アジア（２）；冷戦とサンフランシスコ講和
- ⑪ 〈オキナワ〉とは何か；冷戦下オキナワの基地問題と安全保障
- ⑫ 〈北方領土〉とは何か；“ヤルタ”から冷戦そして“マルタ”へ
- ⑬ 〈竹島問題〉とは何か；戦後の日韓関係と東アジア秩序
- ⑭ 〈尖閣問題〉とは何か；戦後の日中関係と東アジア秩序
- ⑮ まとめと試験；日本を取り巻く歴史と境界

●準備学習・事後学習の内容

基本事項を中心に授業内にて課題を提示します。準備学習として主題に関する用語解説資料（『政治学事

典』弘文堂、『国際政治経済辞典（改訂版）』東京書籍、ならびに新聞の統計資料など）を配布しますので、必ず読んできてください。

●成績評価方法・基準

学期末試験を重視します（60%）。なお、試験は論述で「持ち込み不可」とします。これに授業態度およびレポート／コメントの成績（40%）を総合して評価します。詳細は初回授業時に説明します。

●テキスト（必携）

なし（授業用のレジュメ・資料を配布します。）

●参考文献／その他

参考文献については講義にて適宜紹介します。

●履修上の注意

授業の1／3を超えて欠席した場合、受験資格を失います。また、履修者には積極的な発言を求めます。